

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

GMO フィナンシャルホールディングス株式会社（証券コード：7177）

【新規】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

GMO クリック証券株式会社（証券コード：-）

【新規】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的

■ 格付事由

- (1) GMO フィナンシャルホールディングス（GMOFH）は GMO インターネットグループにおける中核事業のひとつであるインターネット金融事業（ネット金融事業）を担う中間持株会社。傘下には GMO クリック証券（クリック証券）のほか、GMO 外貨や GMO コインなどを有する。他の子会社ではタイにおける証券事業などを手掛ける。クリック証券はネット金融事業の中心的な存在であり、外国為替証拠金取引（FX）を軸に、差金決済取引（CFD）、株式の売買や信用取引などを手掛ける。グループにおける GMOFH、クリック証券の中核的な位置づけを踏まえ、両社の発行体格付は GMO インターネットグループのグループ信用力「A-」相当と同等とした。
- (2) FX においては競合の厳しいなか、クリック証券、GMO 外貨、GMO コインの3社合計でみた取引高は業界トップクラスである。口座数や預り証拠金残高でも強固な事業基盤を有する。自社開発により顧客が使いやすい取引システムを構築している点が強みである。最近では CFD や国内株式の取引も比較的好調に推移している。
- (3) 収益全体に占める割合の大きい FX において、マーケット全体が低調な時にも相応の取引高を確保できおり、GMOFH は一定の収益力を有する。CFD の取引増加も収益拡大に寄与している。GMOFH 連結の営業収益は増収基調を維持しており、中期的にみて経常利益の水準も上昇している。自社システムの利用によって、カバー取引を効率化し取引当りの収益性を高めているほか、システム開発や保守管理にかかるコストの抑制にもつながっている。暗号資産については市場全体の取引が低調であり赤字を計上しているが、固定費負担は小さく赤字幅は小さい。
- (4) 国内事業におけるリスク管理については適切に行われているとみている。FX の為替リスクはシステム取引によって顧客注文に対する最適なカバーを自動的に取ることなどで抑制している。システムにかかるオペレーショナルリスクについても適切に管理されている。CFD、暗号資産など他の取引についても FX と同様のリスク管理がなされている。他方、海外事業ではタイの証券事業において与信集中などに起因した損失が発生しておりリスク管理に改善の余地が残る。きめ細やかなリスク管理態勢の構築を図っており、その実効性に注目していく。
- (5) クリック証券の自己資本規制比率は23年9月末で733%であり、他2社とも問題ない水準にある。自己資本規制比率は高く、資本の余裕度は大きい。資金流動性の確保状況を見ると、カバー先への差入証拠金は基本的に現預金と取引銀行との LG（保証状）で対応できている。当座貸越枠の設定なども含め、カバー取引に必要な流動性は十分に確保されている。

（担当） 阪口 健吾・松澤 弘太

■ 格付対象

発行体：GMO フィナンシャルホールディングス株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	28億円	2023年4月20日	2026年4月20日	1.500%	A-
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2023年6月21日	2026年6月19日	1.52%	A-

発行体：GMO クリック証券株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年12月6日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阪口 健吾
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「証券」(2014年5月8日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
GMOクリック証券株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - ・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル